

篠ちゃんだより

39号
12.4.5

3月定例会開催される

3月定例会が2月27日から3月22日まで開催され、慎重審議の結果、原案の通り可決されました。主な内容は次の通りです。

北橋デイサービスセンターを無償貸付

渋川市北橋デイサービスセンターは、社会福祉法人橘風会が施設運営をおこなっていますが、民営化のために、土地、建物及び付属する設備、物品を無償で貸し付けるものです。無償貸付の目的は、民営化後の施設運営を円滑に行い、良質な介護サービスの水準を確保するため、指定管理の場合は、20万円以上の改修費については市が負担することになっていきます。無償貸付の期間は、10年間です。

防災会議条例改定で委員を増員

防災対策に市内の公共団体の意見を反映するため、委員を46人以内から50人以内に増員されました。公共的団体とは、女性団体連絡協議会、赤十字奉仕団、ボランティア団体などです。

市長・副市長及び教育長の期末手当を減額

厳しい財政状況下において、市長50%、副市長30%の期末手当の減額をおこなうもので、減額の総額は283万円となります。また、教育長についても、30%の期末手当減額の条例改正がおこなわれました。市長からは、「平成24年度予算の編成でも、一般財源枠配分方式の導入により、事業費の1割削減などを進めてきた経緯があり、金額ではなく、行政のトップとしての姿勢を示すことで市民の皆さんにも、厳しい財政状況をご理解いただきたい。」と発言がされました。



渋川市議会議員
しのだ 徳寿

〔後援会事務所〕
大同特殊鋼（株）渋川工場労働組合内
TEL 0279-23-5198
FAX 0279-24-3820
ホームページ
<http://geo.t-shinochan55.com/>
篠田徳寿でも検索できます。

敬老祝金条例を改正

敬老祝金は、80歳、85歳、88歳、90歳及び95歳、並びに99歳以上の方に支給していましたが、88歳及び99歳、並びに101歳以上に改正されました。説明では、渋川市の高齢化率（65歳以上）は26・8%であり、支給年齢と支給金額の適正化を図るためとしています。改正により88歳は5000円から1万円に、99歳及び101歳以上は現状と同額の2万円となりました。

伊香保会館と老人憩いの家を条例廃止

伊香保会館は、伊香保総合支所3階に設置されていましたが、利用状況と維持費用の費用対効果を検証した結果、改修に4000万円、年間維持費として100万円が必要であり、廃止にするものです。

老人憩いの家は小野上と伊香保に設置されていましたが、老朽化により解体することになりました。



伊香保老人憩いの家



小野上老人憩いの家

65歳以上の介護保険料を改定

第1号被保険者（65歳以上）の保険料は3年ごとに見直すため、今年度から第5期介護保険事業計画に基づき、介護保険料の保険料率が改正されます。基準となる保険料（第4段階）は、年間4万6400円から6万3200円となり、36%の値上げとなります。また、第6段階の合計所得金額200万円未満が190万円未満となり、第7段階の200万円以上は400万円未満の第7段階と400万円以上の第8段階になりました。第8段階は6万9600円から11万0600円となります。渋川市の要介護者は3686人です。

公民館利用料を改定

公民館のホールの使用料は、フロアと舞台を合わせた利用料として3000円を頂いていましたが、法律の一部改正に伴い、利用しやすい公民館とするため、フロアと舞台を分離した料金設定となりました。（フロアは16000円、舞台は14000円）その他の利用料については、変更はありません。

補正予算関係

渋川総合病院に1億4000万を補正

渋川総合病院の年間患者数は、入院で2万1960人から1万4640人に、外来で4万4955人から4万2282人に改められました。1日平均患者数は、入院で60人から40人に、外来で185人から174人になります。これにより、病院事業収益が1億7400万円の減収になることから、一般会計より1億4000万の繰入をおこなうものです。すでに負担金として4億1335万円の繰入をおこなっていますので、合計は5億5335万円となります。医業収益は9億2787万円、医業費用は16億5431万円です。

当年度未処理欠損金は1億9135万円の前年度を合わせた合計は13億8325万円となりました。西群馬病院との統合に向けて、より一層の努力が求められます。

平成24年度予算関係

一般会計当初予算は337億3600万円

予算編成方針では、「徹底した行財政改革を実施して、職員が市民の立場・視点に立って考え、コスト意識を持って、歳出の削減に努め、常に事業の見直しと選択、そして改善を図る予算平成として、安定した行財政基盤の確立を図ること」としています。一般会計に一般会計枠配分方式を導入して、予算枠内での所属長の事業選択の裁量権を拡大し、創意工夫のある予算要求を旨として進めてきたと説明がされました。

- ・一般会計予算…337億3600万円(前年度比1・5%、金額で5億700万減額)
- ・各特別会計、水道事業会計及び病院事業会計の総額は、607億2309万2000円で0・7%の増額

一般会計の主な歳入

- ・市 税…104億5292万円(構成比31%)
- ・地方交付税…85億8000万円(構成比25・4%)
- ・国庫支出金…31億2040万円(構成比9・3%)
- ・県支出金…20億9694万円(構成比6・2%)
- ・市 債…37億6310万円(構成比11・2%)

一般会計の主な歳出

- ・総務費…42億8152万円(構成比12・7%)
 - ・民生費…103億1583万円(構成比30・6%)
 - ・土木費…35億9476万円(構成比10・7%)
 - ・教育費…43億4453万円(構成比12・9%)
 - ・公債費…31億7116万円(構成比9・4%)
- その他の構成比(労働費0・2%、農林水産業費5%、商工費3%、消防費5・5%)

主な事業

- ・乗合バス運行費補助事業…1億7849万円(20路線)
- ・自治会連合会等支援事業…1億2259万円
- ・子ども医療費助成…2億8000万円(中学卒業までの

自己負担分を現物支給、市負担分1億4000万円)

・生活扶助費給付事業…9億円(430世帯、559人)

・民間保育所運営事業…9億8233万円

・子どものための手当て支給事業…12億6265万円

・資源ごみ回収事業…4401万円

・渋川地区医師会…446万円(看護専門学校補助金)

・感染症予防事業…1億5304万円(日本脳炎予防接種)

・プレミアム付商品券発行事業…1000万円

・観光宣伝事業…3385万円(伊香保温泉観光協会等)

・誘客イベント事業…2762万円

・道路維持管理事業…1億2282万円

・一般補修事業…6285万円(緊急を要する道路の補修)

・借上賃貸住宅事業…3608万円

・四つ角周辺土地区画事業…2億5909万円

(平成23年末建物移転ベース進捗状況99・09%)

・伊香保温泉再生事業…3億4197万円

・防災行政無線デジタル化事業…6億2576万円

・通学バス運行事業…7701万円(路線の拡充)

・給食調理場再編整備事業…1億5000万円(南部)

・北橋運動場整備事業…3億2282万円

除染計画と今後の放射能対策について

文部科学省及び群馬県による航空機モニタリングの測定結果、及び、市が主体となって平成23年10月から12月にかけて実施した市内公共施設等の空間線量率の調査結果に基づき、平均が毎時0・23マイクロシーベルト以上であることが再調査した結果、確認された区域を除染対象区域とします。

除染対象区域は小野上地区(四方木、藤田、八木沢清水)、子持地区(仙石、横堀運動広場、渋川下新田線)です。

除染の開始は、6月を予定しています。

区域外のマイクロスポットの除染については、3月12から線量計を貸し出していますので、所有者自身による除染をお願いしています。

食品の放射線物質対策についてはベクレル分析装置を1台借受け、環境課で管理運用する予定です。5月末までに納品される予定で、市民の持ち込みによる野菜等の食品や学校給食についても対応を考えています。

渋川幼稚園の竣工式開催される



竣工式のテープカット



新園舎の内部